

# 令和7年度 稲武小学校 特色ある学校づくり推進事業 計画書

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。

テーマ	地域と共に生きる心豊かな子どもの育成	分野	b	地域連携
	サブテーマ 「ふるさとの ひとやものとふれあう活動」を通して	その他		
学校づくりの視点（ねらい）	<p>子どもたちが暮らす稲武のまちは、奥三河の山あいであり、恵まれた自然と、人情味ある人々と、古い歴史と文化を有している。子どもたちに、こうしたよさに気付かせ、ふるさに誇りをもって生きていく力を身に付けさせたい。</p> <p>そこで、身近にある豊かな自然、伝統文化、特色ある物産の教材化、地域の人々との交流等、体験活動を通して地域に学び働きかける教育活動（ふるさと学習）を推進するとともに、体力の向上を図り、たくましく生きる力をもち、ふるさとを愛する心豊かな子ども「いなぶっ子」を育成する。</p>			
活動内容・計画	<p>1 稲武の伝統的な活動（桶茶など）について地域の講師から学ぶ。学習発表会などの機会に、学んだことを地域の人へ発表する。また、交流館祭などで自分たちが作成した作品を展示し、地域の人へ発表する。</p> <p>2 昔の遊びを地域の人から学ぶことや、地域の読み聞かせグループや高齢者との交流を深め、人との結び付きのよさを体感する。</p> <p>3 学校の周りの自然を発見的に探検し、生き物を中心にかかわりを深め、ふるさとの自然への愛着を深める。</p> <p>4 学級園や総合観察園で地域の動植物の栽培・飼育、観察・体験活動を行い、稲武の自然のすばらしさを実感する。</p> <p>5 地域の伝統や産業、物産に着目し、体験を通して地域の人々の智恵と願いを知り、自分の思いとつなげる。</p> <p>6 これからの地域（稲武）にどのように関わっていくかを考える。</p> <p>&lt;計画&gt;</p> <p>4月 学級のテーマ設定をする。</p> <p>5月～10月 調べたり、体験したりして、テーマにせまる活動を行う。</p> <p>1年生 交流活動 こども園、地域講師（昔の遊び）、読み聞かせグループ</p> <p>2年生 地域産業 蚕を学ぶ 交流活動 読み聞かせグループ</p> <p>3年生 地域産業 ブルーベリー栽培を学ぶ</p> <p>4年生 福祉体験 地域の高齢者との交流</p> <p>5年生 環境学習 森林と河川から学ぶ</p> <p>6年生 キャリア教育 稲武とぼくらの過去・現在・未来</p> <p>11月～1月 テーマの意味や価値をとらえ、稲武のよさを発見する。活動したことをまとめ、発表し合う。1月「ふるさと学習発表会」</p>			
補助員配置	<p>・体力向上補助指導員</p> <p>・校内整備員</p>			
実績・期待される効果	<p>1 地域のために活動されている人やお年寄りとの交流活動を通して、子どもたちの視野を広げ、ふるさと稲武への愛着と個々の願いを育むことができている。</p> <p>2 子どもたちにとって身近な名産品や伝統産業に働きかけることで、学習の質を高めることができた。また、地域の方を講師に招くことで、学校教育に対してより深い理解と協力を得ることができている。</p> <p>3 ふるさと稲武の豊かな自然環境を生かして体験的な活動を行うことで、心身ともに健康でたくましい「いなぶっ子」の基礎を培っている。</p> <p>4 体力向上補助指導員や校内整備員を配置することにより、安全な環境での活動が保障され、運動好きな子どもが増加するとともに、さらに体力も向上することが期待される。</p>			
検証方法	<p>1 児童のレポート、ふるさと学習発表会より</p> <p>2 保護者アンケートより</p> <p>3 地域講師や、お年寄りからの言葉や手紙より</p>			